

平成 21 年度 佐賀大学 2 次試験前期日程 (数学問題)

理工・農・文化教育学部 平成 21 年 2 月 25 日

- 理工学部は, [1] ~ [4] 数 I・II・III・A・B・C (120 分)
- 農学部は, [5] ~ [8] 数 I・II・A・B (120 分)
- 文化教育学部は, [9] ~ [12] 数 I・II・A・B (100 分)

1 等差数列 $\{a_n\}$ は, $a_5 = 14$, $a_{10} = 29$ を満たすとする. このとき, 次の問いに答えよ.

- (1) 一般項 a_n を求めよ.
- (2) $\sum_{k=1}^n 2^{-a_k}$ を求めよ.
- (3) $\sum_{k=1}^n \frac{1}{a_k a_{k+1}}$ を求めよ.
- (4) $\sum_{k=1}^{\infty} 2^{-a_k}$ および $\sum_{k=1}^{\infty} \frac{1}{a_k a_{k+1}}$ を求めよ.

2 $x > 1$ において $f(x) = \sqrt{x} - \log x$, $g(x) = \frac{x}{\log x}$ とするとき, 次の問いに答えよ. (ただし, 対数は自然対数とする.)

- (1) $f(x) > 0$ を示せ.
- (2) $g(x) > \sqrt{x}$ を示せ. これを用いて, $\lim_{x \rightarrow \infty} g(x) = \infty$ を示せ.
- (3) $g'(x)$, $g''(x)$ を計算し, $g(x)$ の極値, 変曲点の座標を求めよ.
- (4) 関数 $y = g(x)$ のグラフをかけ.

3 次の問いに答えよ.

- (1) 2 つの曲線 $y = \sin x$, $y = \cos x$ $\left(\frac{\pi}{4} \leq x \leq \frac{5\pi}{4}\right)$ で囲まれた図形 D の面積 S を求めよ.
- (2) 区間 $\frac{\pi}{4} \leq x \leq \frac{5\pi}{4}$ における, $|\sin x|$ と $|\cos x|$ の大小関係を述べよ.
- (3) (1) の図形 D を x 軸の回りに一回転してできる立体の体積 V を求めよ.

4 行列 $A = \begin{pmatrix} \cos 72^\circ & -\sin 72^\circ \\ \sin 72^\circ & \cos 72^\circ \end{pmatrix}$ について、次の問いに答えよ。ただし、 E は 2 次の単位行列とし、 O を 2 次の零行列とする。

(1) $(A - E)(A^4 + A^3 + A^2 + A + E) = O$ を示せ。

(2) $A - E$ が逆行列を持つことを示せ。これを用いて

$$A^4 + A^3 + A^2 + A + E = O$$

を示せ。

(3) $B = A + A^{-1}$ とおく。(2) を用いて、 $B^2 + B - E = O$ を示せ。

(4) (3) の行列 B について、 $B = \begin{pmatrix} 2 \cos 72^\circ & 0 \\ 0 & 2 \cos 72^\circ \end{pmatrix}$ を示せ。

(5) $\alpha = \cos 72^\circ$ とおくと、(3) と (4) を用いて、 $4\alpha^2 + 2\alpha - 1 = 0$ が成り立つことを示せ。さらに $\cos 72^\circ$ の値を求めよ。

5 座標平面上の 3 点 $P(2, 1)$, $Q\left(-\frac{2}{5}, -\frac{11}{5}\right)$, $O(0, 0)$ を通る円を C_1 とする。このとき、次の問いに答えよ。

(1) 円 C_1 の方程式を求めよ。

(2) 円 C_1 に内接する正三角形の面積を求めよ。

(3) 円 $C_2 : x^2 + y^2 = 5$ の円周上を動く点 M に対して、3 点 M, P, Q が三角形を作るとする。このとき、 $\triangle MPQ$ の重心の軌跡を求めよ。

6 濃度 $a\%$ ($a > 0$) の均一な食塩水がある。このとき、次の問いに答えよ。

(1) 食塩水から質量の 10 分の 1 を取り出し、代わりに同じ質量の真水を加えて濃度が均一になるようにした。このときの食塩水の濃度を求めよ。

(2) (1) の操作を n 回繰り返してできる食塩水の濃度を求めよ。

(3) $0.4771 < \log_{10} 3 < 0.4772$ を用いて、(2) において濃度が $\frac{a}{10}\%$ 以下になる n の最小値を求めよ。

7 $A_1(1, 1, 1)$, $A_2(2, 3, 1)$, $A_3(2, 2, 2)$, $A_4(4, 2, 0)$ を空間内の4点とし, O を原点とするとき, 次の問いに答えよ.

- (1) A_3 と A_4 の中点を B とするとき, $\triangle A_1A_2B$ の面積を求めよ.
- (2) 2つの四面体 $A_1A_2A_3B$, および $A_1A_2A_4B$ の体積をそれぞれ求めよ.
- (3)

$$\frac{1}{4}(\overrightarrow{OA_1} + \overrightarrow{OA_2} + \overrightarrow{OA_3} + \overrightarrow{OA_4})$$

を位置ベクトルに持つ点を P とする. $\overrightarrow{A_1P}$ を $\overrightarrow{A_1A_2}$ と $\overrightarrow{A_1B}$ を用いて表し, 4点 A_1 , A_2 , B , P は同一平面上にあることを示せ.

- (4) A_1 と A_2 の中点を C とするとき, 4点 A_3 , A_4 , C , P は同一平面上にあることを示せ.

8 $k > 1$ とする. 2直線 $y = kx$, $y = (2k - 1)x$ と放物線 $y = x^2$ によって囲まれた図形の面積を S とするとき, 次の問いに答えよ.

- (1) S を k を用いて表せ.
- (2) S は k に関して単調に増加することを示せ.
- (3) $6S < 6k^3 - 7k^2 + 1$ が成り立つような k の値の範囲を求めよ.

9 以下の問いに答えよ.

- (1) 次を満たす2数 x , y を求めよ.

$$x + y = \frac{1}{x} + \frac{1}{y} = 2$$

- (2) 次を満たす3数 x , y , z を求めよ.

$$x + y + z = \frac{1}{x} + \frac{1}{y} + \frac{1}{z} = 3, \quad xyz = 1$$

10 関数 $f(\theta) = \sin \theta - \sqrt{3} \cos \theta$ について、以下の問いに答えよ。

- (1) $y = f(\theta)$ のグラフをかけ。
 (2) $-\pi < \theta < \pi$ のとき、方程式

$$f(\theta) = 1$$

を解け。

- (3) $-\pi < \theta < \pi$ のとき、不等式

$$\sin \theta > \sqrt{3} \cos \theta + 1$$

を解け。

11 以下の問いに答えよ。

- (1) 初項 a 、公差 d の等差数列 $\{a_n\}$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) において、

$$a_1 + a_2 + \dots + a_n = \frac{n\{2a + (n-1)d\}}{2}$$

となることを証明せよ。

- (2) (i) n は自然数とする。このとき、

$$1 - x^n = (1 - x)(1 + x + \dots + x^{n-1})$$

が成り立つことを数学的帰納法を用いて証明せよ。

- (ii) 初項 a 、公比 r の等比数列 $\{a_n\}$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) において、

$$a_1 + a_2 + \dots + a_n = \begin{cases} na & (r = 1 \text{ のとき}) \\ \frac{a(1 - r^n)}{1 - r} & (r \neq 1 \text{ のとき}) \end{cases}$$

となることを証明せよ。

12 放物線 $y = x^2$ のグラフ上に 2 点 $A(a, a^2)$ 、 $B(b, b^2)$ (ただし、 $a < b$) がある。また、グラフ上の点 A と点 B の間に点 $P(p, p^2)$ をとり、点 P における放物線の接線、線分 AB 、2 直線 $x = a$ 、 $x = p$ で囲まれた部分の面積を S_1 、放物線、点 P における放物線の接線、直線 $x = a$ で囲まれた部分の面積を S_2 とする。点 P が点 A と点 B の間 (両端を含まない) を放物線のグラフに沿って動くとき、 $\frac{S_2}{S_1}$ のとる値の範囲を求めよ。

正解

- 1 (1) 等差数列 $\{a_n\}$ の初項を a , 公差を d とすると, $a_5 = 14$, $a_{10} = 29$ より

$$a + 4d = 14, \quad a + 9d = 29 \quad \text{これを解いて} \quad a = 2, \quad d = 3$$

$$\text{したがって} \quad a_n = 2 + (n-1) \cdot 3 \quad \text{すなわち} \quad a_n = 3n - 1$$

- (2) (1) の結果から

$$\begin{aligned} \sum_{k=1}^n 2^{-a_k} &= \sum_{k=1}^n 2^{-3k+1} = \frac{1}{4} \sum_{k=1}^n \left(\frac{1}{8}\right)^{k-1} \\ &= \frac{1}{4} \times \frac{1 - \left(\frac{1}{8}\right)^n}{1 - \frac{1}{8}} = \frac{2}{7} \left\{1 - \left(\frac{1}{8}\right)^n\right\} \end{aligned}$$

- (3) (1) の結果から

$$\begin{aligned} \sum_{k=1}^n \frac{1}{a_k a_{k+1}} &= \sum_{k=1}^n \frac{1}{(3k-1)(3k+2)} = \frac{1}{3} \sum_{k=1}^n \left(\frac{1}{3k-1} - \frac{1}{3k+2}\right) \\ &= \frac{1}{3} \left(\frac{1}{2} - \frac{1}{3n+2}\right) = \frac{n}{2(3n+2)} \end{aligned}$$

- (4) (2), (3) の結果から

$$\begin{aligned} \sum_{k=1}^{\infty} 2^{-a_k} &= \lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=1}^n 2^{-a_k} = \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{2}{7} \left\{1 - \left(\frac{1}{8}\right)^n\right\} = \frac{2}{7} \\ \sum_{k=1}^{\infty} \frac{1}{a_k a_{k+1}} &= \lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=1}^n \frac{1}{a_k a_{k+1}} = \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{3} \left(\frac{1}{2} - \frac{1}{3n+2}\right) = \frac{1}{6} \end{aligned}$$

- 2 (1) $f(x) = \sqrt{x} - \log x$ を微分すると

$$f'(x) = \frac{1}{2\sqrt{x}} - \frac{1}{x} = \frac{\sqrt{x} - 2}{2x}$$

x	(1)	...	4	...
$f'(x)$		-	0	+
$f(x)$		↘	最小	↗

したがって $f(x) \geq f(4) = 2(1 - \log 2) > 0$ よって $f(x) > 0$

- (2) $g(x) - \sqrt{x} = \frac{x}{\log x} - \sqrt{x} = \frac{\sqrt{x}}{\log x} (\sqrt{x} - \log x) = \frac{\sqrt{x}}{\log x} f(x)$

$x > 1$ のとき $\frac{\sqrt{x}}{\log x} > 0$, $f(x) > 0$ であるから

$$g(x) - \sqrt{x} > 0 \quad \text{すなわち} \quad g(x) > \sqrt{x}$$

また $\lim_{x \rightarrow \infty} \sqrt{x} = \infty$ よって $\lim_{x \rightarrow \infty} g(x) = \infty$

(3) $g(x) = x(\log x)^{-1}$ であるから, この両辺を微分すると

$$\begin{aligned} g'(x) &= (\log x)^{-1} + x \cdot (-1)(\log x)^{-2} \cdot \frac{1}{x} \\ &= (\log x)^{-1} - (\log x)^{-2} \\ g''(x) &= -(\log x)^{-2} \cdot \frac{1}{x} + 2(\log x)^{-3} \cdot \frac{1}{x} \end{aligned}$$

すなわち $g'(x) = \frac{\log x - 1}{(\log x)^2}$, $g''(x) = \frac{2 - \log x}{x(\log x)^3}$

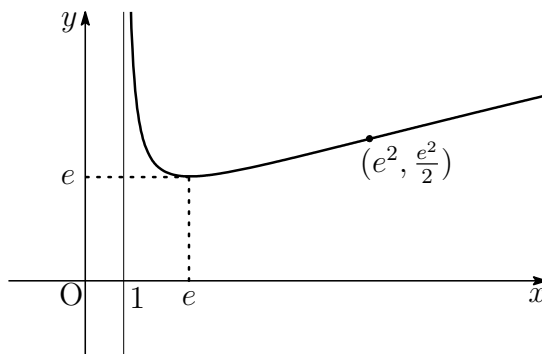
したがって, $g(x)$ の増減および凹凸は次のようになる.

x	(1)	...	e	...	e^2	...
$g'(x)$		-	0	+	+	+
$g''(x)$		+	+	+	0	-
$g(x)$		↘	e	↗	$\frac{e^2}{2}$	↖

$x = e$ のとき極小値 e , 変曲点 $\left(e^2, \frac{e^2}{2}\right)$

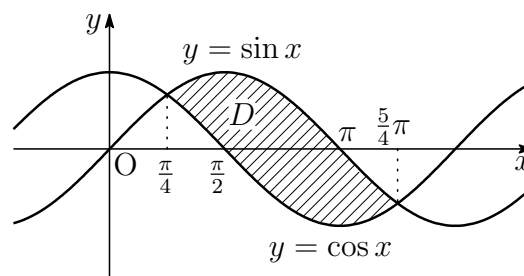
(4) $\lim_{x \rightarrow 1+0} g(x) = \infty$ であるから, 直線 $x = 1$ は漸近線.

よって, $y = g(x)$ のグラフは次のようになる.



3 (1) 図形 D の面積 S は

$$\begin{aligned} S &= \int_{\frac{\pi}{4}}^{\frac{5}{4}\pi} (\sin x - \cos x) dx \\ &= \left[-\cos x - \sin x \right]_{\frac{\pi}{4}}^{\frac{5}{4}\pi} \\ &= 2\sqrt{2} \end{aligned}$$



$$(2) \quad (|\cos x| + |\sin x|)(|\cos x| - |\sin x|) = |\cos x|^2 - |\sin x|^2 \\ = \cos^2 x - \sin^2 x = \cos 2x$$

$|\cos x| + |\sin x| > 0$ であるから, $|\cos x| - |\sin x|$ と $\cos 2x$ は同符号.

$\frac{\pi}{4} \leq x \leq \frac{5}{4}\pi$ より $\frac{\pi}{2} \leq 2x \leq \frac{5}{2}\pi$ において

$$2x = \frac{\pi}{2}, \frac{3}{2}\pi, \frac{5}{2}\pi \text{ のとき} \quad |\cos x| - |\sin x| = 0$$

$$\frac{\pi}{2} < 2x < \frac{3}{2}\pi \text{ のとき} \quad |\cos x| - |\sin x| < 0$$

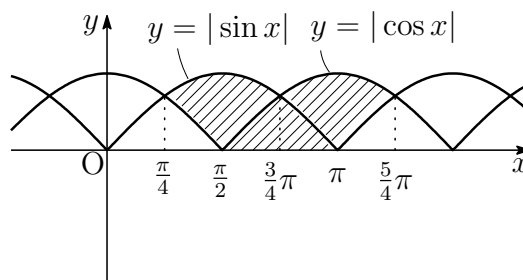
$$\frac{3}{2}\pi < 2x < \frac{5}{2}\pi \text{ のとき} \quad |\cos x| - |\sin x| > 0$$

$$\text{よって} \quad x = \frac{\pi}{4}, \frac{3}{4}\pi, \frac{5}{4}\pi \text{ のとき} \quad |\sin x| = |\cos x|$$

$$\frac{\pi}{4} < x < \frac{3}{4}\pi \text{ のとき} \quad |\sin x| > |\cos x|$$

$$\frac{3}{4}\pi < x < \frac{5}{4}\pi \text{ のとき} \quad |\sin x| < |\cos x|$$

- (3) (1) の x 軸の求める回転体の体積を V とすると, V は右の図の斜線部分を x 軸のまわりに回転させてできる回転体の体積である. このとき, 図の斜線部分は, 直線 $x = \frac{3}{4}\pi$ に関して対称であるから



$$\frac{V}{2\pi} = \int_{\frac{\pi}{4}}^{\frac{3}{4}\pi} \sin^2 x \, dx - \int_{\frac{\pi}{4}}^{\frac{\pi}{2}} \cos^2 x \, dx \\ = \int_{\frac{\pi}{4}}^{\frac{3}{4}\pi} \left(\frac{1}{2} - \frac{1}{2} \cos 2x \right) dx - \int_{\frac{\pi}{4}}^{\frac{\pi}{2}} \left(\frac{1}{2} + \frac{1}{2} \cos 2x \right) dx \\ = \left[\frac{x}{2} - \frac{1}{4} \sin 2x \right]_{\frac{\pi}{4}}^{\frac{3}{4}\pi} - \left[\frac{x}{2} + \frac{1}{4} \sin 2x \right]_{\frac{\pi}{4}}^{\frac{\pi}{2}} = \frac{\pi}{8} + \frac{3}{4}$$

$$\text{よって} \quad V = \pi \left(\frac{\pi}{4} + \frac{3}{2} \right)$$

$$\begin{aligned}
 \boxed{4} \quad (1) \quad & (A - E)(A^4 + A^3 + A^2 + A + E) \\
 & = A^5 - E \\
 & = \begin{pmatrix} \cos 72^\circ \times 5 & -\sin 72^\circ \times 5 \\ \sin 72^\circ \times 5 & \cos 72^\circ \times 5 \end{pmatrix} - \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 0 & 1 \end{pmatrix} \\
 & = \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 0 & 1 \end{pmatrix} - \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 0 & 1 \end{pmatrix} = O
 \end{aligned}$$

$$(2) \quad A - E = \begin{pmatrix} \cos 72^\circ - 1 & -\sin 72^\circ \\ \sin 72^\circ & \cos 72^\circ - 1 \end{pmatrix} \text{ より}$$

$$\begin{aligned}
 \det(A - E) &= (\cos 72^\circ - 1)^2 - (-\sin 72^\circ) \sin 72^\circ \\
 &= 2(1 - \cos 72^\circ) \neq 0
 \end{aligned}$$

ゆえに $A - E$ は正則であるから, (1) より

$$A^4 + A^3 + A^2 + A + E = O$$

(3) (2) の結果の両辺に $(A^{-1})^2$ を掛けると

$$\begin{aligned}
 A^2 + A + E + A^{-1} + A^{-2} &= O \\
 (A + A^{-1})^2 + (A + A^{-1}) - E &= O
 \end{aligned}$$

$$B = A + A^{-1} \text{ より } B^2 + B - E = O$$

$$(4) \quad A = \begin{pmatrix} \cos 72^\circ & -\sin 72^\circ \\ \sin 72^\circ & \cos 72^\circ \end{pmatrix} \text{ より } A^{-1} = \begin{pmatrix} \cos 72^\circ & \sin 72^\circ \\ -\sin 72^\circ & \cos 72^\circ \end{pmatrix}$$

$$\text{上の 2 式より } B = A + A^{-1} = \begin{pmatrix} 2 \cos 72^\circ & 0 \\ 0 & 2 \cos 72^\circ \end{pmatrix}$$

(5) $\alpha = \cos 72^\circ$ を (4) の結果に代入して

$$B = \begin{pmatrix} 2\alpha & 0 \\ 0 & 2\alpha \end{pmatrix} \text{ さらに } B^2 = \begin{pmatrix} 4\alpha^2 & 0 \\ 0 & 4\alpha^2 \end{pmatrix}$$

これらを (3) の結果に代入して

$$\begin{pmatrix} 4\alpha^2 + 2\alpha - 1 & 0 \\ 0 & 4\alpha^2 + 2\alpha - 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 0 & 0 \\ 0 & 0 \end{pmatrix}$$

したがって $4\alpha^2 + 2\alpha - 1 = 0$

$$\alpha = \cos 72^\circ > 0 \text{ に注意して解くと } \cos 72^\circ = \frac{-1 + \sqrt{5}}{4}$$

- 5 (1) C_1 が O を通ることに注意して、求める円 C_1 の方程式を

$$x^2 + y^2 + ax + by = 0$$

とおくと、これが2点 $P(2, 1)$, $Q\left(-\frac{2}{5}, -\frac{11}{5}\right)$ を通るから

$$2a + b + 5 = 0, \quad -\frac{2}{5}a - \frac{11}{5}b + 5 = 0$$

これを解いて $a = -4$, $b = 3$ よって $x^2 + y^2 - 4x + 3y = 0$

- (2) (1) の結果から $(x-2)^2 + \left(y + \frac{3}{2}\right)^2 = \frac{25}{4}$ ゆえに C_1 の半径は $\frac{5}{2}$
 C_1 に内接する正三角形の一辺の長さを d とすると、正弦定理により

$$\frac{d}{\sin 60^\circ} = 2 \times \frac{5}{2} \quad \text{ゆえに} \quad d = \frac{5\sqrt{3}}{2}$$

よって、求める正三角形の面積は $\frac{1}{2} \left(\frac{5\sqrt{3}}{2}\right)^2 \sin 60^\circ = \frac{75\sqrt{3}}{16}$

- (3) C_2 上の点 M の座標を (s, t) とすると、 M は P, Q 以外の点であるから

$$s^2 + t^2 = 5 \cdots \textcircled{1}, \quad (s, t) \neq (2, 1), \left(-\frac{2}{5}, -\frac{11}{5}\right)$$

$\triangle MPQ$ の重心を $G(x, y)$ とすると

$$x = \frac{s + 2 - \frac{2}{5}}{3}, \quad y = \frac{t + 1 - \frac{11}{5}}{3}, \quad (x, y) \neq \left(\frac{6}{5}, -\frac{1}{15}\right), \left(\frac{2}{5}, -\frac{17}{15}\right)$$

すなわち $s = 3x - \frac{8}{5}, \quad t = 3y + \frac{6}{5}$

これを $\textcircled{1}$ に代入して $\left(3x - \frac{8}{5}\right)^2 + \left(3y + \frac{6}{5}\right)^2 = 5$

$$\left(x - \frac{8}{15}\right)^2 + \left(y + \frac{2}{5}\right)^2 = \frac{5}{9}$$

よって 中心 $\left(\frac{8}{15}, -\frac{2}{5}\right)$, 半径 $\frac{\sqrt{5}}{3}$ の円,

ただし、2点 $\left(\frac{6}{5}, -\frac{1}{15}\right), \left(\frac{2}{5}, -\frac{17}{15}\right)$ は除く

- 6 (1) この操作により，全体の質量は変わらず食塩の質量は $\frac{9}{10}$ になるから，求める食塩水の濃度は

$$a \times \frac{9}{10} = \frac{9}{10}a \text{ [%]}$$

- (2) (1) の操作を n 回繰り返すから，求める食塩水の濃度は

$$a \times \left(\frac{9}{10}\right)^n = \left(\frac{9}{10}\right)^n a \text{ [%]}$$

- (3) (2) の結果を条件に適用すると

$$\left(\frac{9}{10}\right)^n a \leq \frac{a}{10} \quad \text{すなわち} \quad \left(\frac{9}{10}\right)^n \leq \frac{1}{10}$$

両辺の常用対数をとると

$$\log_{10} \left(\frac{9}{10}\right)^n \leq -1 \quad \text{ゆえに} \quad n(2 \log_{10} 3 - 1) \leq -1$$

$$\text{したがって} \quad n \geq \frac{1}{1 - 2 \log_{10} 3} \quad \dots (*)$$

ここで， $0.4771 < \log_{10} 3 < 0.4772$ より， $0.0456 < 1 - 2 \log_{10} 3 < 0.0458$ であるから

$$21.8\dots = \frac{1}{0.458} < \frac{1}{1 - 2 \log_{10} 3} < \frac{1}{0.456} = 21.9\dots$$

よって，(*) をみたす最小の n は **22**

- 7 (1) $A_3(2, 2, 2)$ と $A_4(4, 2, 0)$ の中点 B の座標は

$$\left(\frac{2+4}{2}, \frac{2+2}{2}, \frac{2+0}{2}\right) \quad \text{すなわち} \quad (3, 2, 1)$$

$$\begin{aligned} \text{ゆえに} \quad \overrightarrow{A_1A_2} &= (2, 3, 1) - (1, 1, 1) = (1, 2, 0), \\ \overrightarrow{A_1B} &= (3, 2, 1) - (1, 1, 1) = (2, 1, 0) \end{aligned}$$

よって 3点 A_1, A_2, B は平面 $z = 1$ 上にあるから, 2つのベクトル $\overrightarrow{A_1A_2}, \overrightarrow{A_1B}$ の x 成分および y 成分から

$$\Delta A_1A_2B = \frac{1}{2}|1 \cdot 1 - 2 \cdot 2| = \frac{3}{2}$$

- (2) 3点 A_1, A_2, B は平面 $z = 1$ 上にあるから, 2点 $A_3(2, 2, 2), A_4(4, 2, 0)$ からこの平面に下ろした垂線の長さは, ともに1である.

よって, 四面体 $A_1A_2A_3B$ および四面体 $A_1A_2A_4B$ の体積は, ともに

$$\frac{1}{3}\Delta A_1A_2B \times 1 = \frac{1}{3} \times \frac{3}{2} \times 1 = \frac{1}{2}$$

- (3)
$$\begin{aligned} 4\overrightarrow{OP} &= \overrightarrow{OA_1} + \overrightarrow{OA_2} + \overrightarrow{OA_3} + \overrightarrow{OA_4} \\ &= (1, 1, 1) + (2, 3, 1) + (2, 2, 2) + (4, 2, 0) \\ &= (9, 8, 4) \end{aligned}$$

$$\text{ゆえに} \quad \overrightarrow{OP} = \left(\frac{9}{4}, 2, 1\right), \quad \overrightarrow{A_1P} = \left(\frac{9}{4}, 2, 1\right) - (1, 1, 1) = \left(\frac{5}{4}, 1, 0\right)$$

上式および(1)の結果から, $\overrightarrow{A_1P} = \alpha\overrightarrow{A_1A_2} + \beta\overrightarrow{A_1B}$ とおくと

$$\left(\frac{5}{4}, 1, 0\right) = \alpha(1, 2, 0) + \beta(2, 1, 0)$$

$$\text{これを解いて} \quad \alpha = \frac{1}{4}, \quad \beta = \frac{1}{2} \quad \text{ゆえに} \quad \overrightarrow{A_1P} = \frac{1}{4}\overrightarrow{A_1A_2} + \frac{1}{2}\overrightarrow{A_1B}$$

よって, 4点 A_1, A_2, B, P は同一平面上にある.

- (4) $A_1(1, 1, 1)$ と $A_2(2, 3, 1)$ の中点 C の座標は

$$\left(\frac{1+2}{2}, \frac{1+3}{2}, \frac{1+1}{2}\right) \quad \text{すなわち} \quad \left(\frac{3}{2}, 2, 1\right)$$

これと(1)の結果から, 4点 A_3, A_4, C, P の y 座標が2であるから, これらの4点は, 平面 $y = 2$ 上にある.

- 8 (1) $C: y = x^2$, $l_1: y = kx$, $l_2: y = (2k-1)x$ とする.

C と l_1 の交点の x 座標は $0, k$

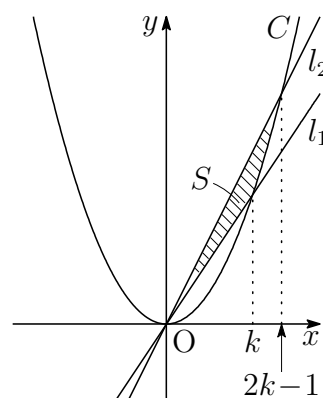
C と l_2 の交点の x 座標は $0, 2k-1$

$k > 1$ より $(2k-1) - k = k-1 > 0$

ゆえに $2k-1 > k$

C と l_1 で囲まれた部分の面積を S_1 , C と l_2 で囲まれた部分の面積を S_2 とすると

$$S_1 = \frac{1}{6}k^3, \quad S_2 = \frac{1}{6}(2k-1)^3$$



求める面積は、右の図の斜線部分で

$$\begin{aligned} S &= S_2 - S_1 = \frac{1}{6}(2k-1)^3 - \frac{1}{6}k^3 \\ &= \frac{7}{6}k^3 - 2k^2 + k - \frac{1}{6} \end{aligned}$$

- (2) (1) の結果から

$$\frac{dS}{dk} = \frac{7}{2}k^2 - 4k + 1 = \frac{7}{2}(k-1)^2 + 3(k-1) + \frac{1}{2}$$

$k > 1$ のとき, $\frac{dS}{dk} > 0$ であるから, S は k に関して単調に増加する.

- (3) $6S < 6k^3 - 7k^2 + 1$ に (1) の結果を代入すると

$$6 \left(\frac{7}{6}k^3 - 2k^2 + k - \frac{1}{6} \right) < 6k^3 - 7k^2 + 1$$

整理すると $k^3 - 5k^2 + 6k - 2 < 0$

ゆえに $(k-1)(k-2+\sqrt{2})(k-2-\sqrt{2}) < 0$

$k > 1$ に注意して, これを解くと $1 < k < 2 + \sqrt{2}$

9 (1) $\frac{1}{x} + \frac{1}{y} = 2$ より $\frac{x+y}{xy} = 2$
 $x+y=2$ であるから $xy=1$
 x, y を解とする 2 次方程式は $t^2 - 2t + 1 = 0$
これを解いて $t=1$ よって $x=y=1$

(2) $\frac{1}{x} + \frac{1}{y} + \frac{1}{z} = 3$ より $\frac{xy+yz+zx}{xyz} = 3$
 $xyz=1$ であるから $xy+yz+zx=3$

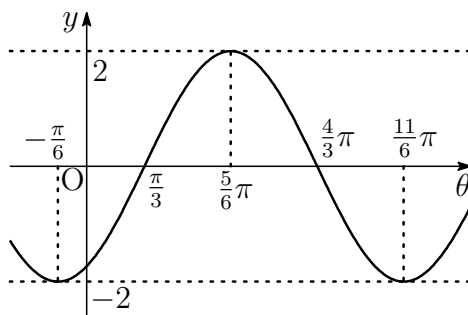
上の 2 式および $x+y+z=3$ から, x, y, z を解とする 3 次方程式は

$$t^3 - 3t^2 + 3t - 1 = 0 \quad \text{これを解いて } t=1$$

よって $x=y=z=1$

10 (1) $f(\theta) = \sin \theta - \sqrt{3} \cos \theta = 2 \sin \left(\theta - \frac{\pi}{3} \right)$

$y = f(\theta)$ は $y = 2 \sin \theta$ のグラフを θ 軸方向に, $\frac{\pi}{3}$ だけ平行移動したもの.



(2) (1) の結果を $f(\theta) = 1$ に代入すると

$$2 \sin \left(\theta - \frac{\pi}{3} \right) = 1 \quad \text{ゆえに} \quad \sin \left(\theta - \frac{\pi}{3} \right) = \frac{1}{2}$$

$-\pi < \theta < \pi$ より, $-\frac{4}{3}\pi < \theta - \frac{\pi}{3} < \frac{2}{3}\pi$ において, 上の方程式を解くと

$$\theta - \frac{\pi}{3} = -\frac{7}{6}\pi, \frac{\pi}{6} \quad \text{よって} \quad \theta = -\frac{5}{6}\pi, \frac{\pi}{2}$$

(3) $\sin \theta > \sqrt{3} \cos \theta + 1$ より $\sin \left(\theta - \frac{\pi}{3} \right) > \frac{1}{2}$

(2) の結果に注意して

$$-\frac{4}{3}\pi < \theta - \frac{\pi}{3} < -\frac{7}{6}\pi, \quad \frac{\pi}{6} < \theta - \frac{\pi}{3} < \frac{2}{3}\pi$$

よって $-\pi < \theta < -\frac{5}{6}\pi, \quad \frac{\pi}{2} < \theta < \pi$

- 11 (1) 初項 a 、公差 d の等差数列において、第 n 項が l のとき、初項から第 n 項までの和を S_n で表すと、

$$S_n = a + (a + d) + (a + 2d) + \cdots + (l - d) + l \quad \cdots \textcircled{1}$$

であり、足す項の順を逆にすると、 S_n は次のようにも表される。

$$S_n = l + (l - d) + (l - 2d) + \cdots + (a + d) + a \quad \cdots \textcircled{2}$$

① と ② の各辺を足すことにより $2S_n = n(a + l)$

また、 l は第 n 項であるから、 $l = a + (n - 1)d$ と表される。

したがって $2S_n = n\{2a + (n - 1)d\}$

よって $a_1 + a_2 + \cdots + a_n = \frac{n\{2a + (n - 1)d\}}{2}$

- (2) (i) $1 - x^n = (1 - x)(1 + x + \cdots + x^{n-1}) \quad \cdots (*)$

[1] $n = 1$ のとき、 $(*)$ は明らかに成り立つ。

[2] $n = k$ のとき、 $(*)$ が成り立つと仮定すると

$$1 - x^k = (1 - x)(1 + x + \cdots + x^{k-1})$$

この両辺に $(1 - x)x^k$ を加えると

$$\begin{aligned} 1 - x^k + (1 - x)x^k &= (1 - x)(1 + x + \cdots + x^{k-1}) + (1 - x)x^k \\ 1 - x^{k+1} &= (1 - x)(1 + x + \cdots + x^{k-1} + x^k) \end{aligned}$$

したがって、 $n = k + 1$ のときも $(*)$ が成り立つ。

[1]、[2] より、すべての自然数 n に対して、 $(*)$ が成り立つ。

- (ii) $r = 1$ のとき

$$a_1 + a_2 + \cdots + a_n = \overbrace{a + a + \cdots + a}^{n \text{ 個}} = na$$

$r \neq 1$ のとき

$$\begin{aligned} a_1 + a_2 + \cdots + a_n &= a + ar + \cdots + ar^{n-1} \\ &= a(1 + r + \cdots + r^{n-1}) \end{aligned}$$

ここで、(i) の結果により $1 + r + \cdots + r^{n-1} = \frac{1 - r^n}{1 - r}$

よって $a_1 + a_2 + \cdots + a_n = \frac{a(1 - r^n)}{1 - r}$

- 12 曲線 $y = x^2$ を C , C 上の点 P における接線を l とする. また, l と直線 $x = a$ の交点を A' , 線分 AB と直線 $x = p$ の交点を P' とする.

$$y = x^2 \text{ を微分すると } y' = 2x$$

接線 l の方程式は

$$y - p^2 = 2p(x - p) \quad \text{すなわち} \quad y = 2px - p^2$$

線分 AB の方程式は

$$y - a^2 = \frac{b^2 - a^2}{b - a}(x - a) \quad \text{すなわち} \quad y = (a + b)x - ab$$

$$\text{ゆえに} \quad A'(a, 2ap - p^2), \quad P'(p, (a + b)p - ab)$$

$$\text{したがって} \quad AA' = a^2 - (2ap - p^2) = (p - a)^2$$

$$PP' = (a + b)p - ab - p^2 = (p - a)(b - p)$$

$$\begin{aligned} S_1 &= \frac{1}{2}(p - a)(AA' + PP') \\ &= \frac{1}{2}(p - a)\{(p - a)^2 + (p - a)(b - p)\} = \frac{1}{2}(p - a)^2(b - a) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} S_2 &= \int_a^p \{x^2 - (2px - p^2)\} dx = \int_a^p (x - p)^2 dx \\ &= \frac{1}{3} \left[\frac{1}{3}(x - p)^3 \right]_a^p = \frac{1}{3}(p - a)^3 \end{aligned}$$

$$\frac{S_2}{S_1} = \frac{\frac{1}{3}(p - a)^3}{\frac{1}{2}(p - a)^2(b - a)} = \frac{2(p - a)}{3(b - a)}$$

このとき, $a < p < b$ であるから $0 < p - a < b - a$

$$\text{よって} \quad 0 < \frac{S_2}{S_1} < \frac{2}{3}$$

